

# ひろば大代

NO.447

大代まちづくり  
センター

H28.10.23

はじめまして  
よろしくお願ひ

します



下市 和田亮二

8月末に東京から引越してまいりました和田と申します。

生まれも育ちも東京の下町ですが、この度、ご縁があつて島根県に「ターソン」移住させていただくこととなりました。至る所に昔ながらの日本の原風景が広がる大代町には素晴らしい魅力を感じています。

私も少しずつこの町に慣れていき、歴史や文化を学んで行こうと思ひます。現在、越してきた家の改修のため、近隣の皆様には大変ご迷惑をかけています。やがて工事も終わりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

家の片づけが終わりましたら、いよいよ職人としての仕事を始める予定です。大代町に小さな模型工房を構え、微力ながら全国に作品を発信できればと思ひています。

皆さまよろしくお願ひします。

## 大代町民運動会を終えて

大代体育協会会長 齋藤和憲

町民の皆様、そして運動会に参加される為に帰省して頂いた皆様方、第66回大代町民運動会に参加して頂き誠にありがとうございました。

雨の影響を考え、グラウンドから体育館に場所を変更したので、どれ程の人が来てくれるか大変不安でしたが、大勢の人達が参加して下さい、本当に「ほっ」としました。

今回は、種目を2つ入れ替えてみましたが、皆様楽しんでいただけただけでしょうか？また打合せ不足で皆様にご迷惑をお掛けする場面もあり、申し訳ありませんでした。

来年はもっと楽しんでもらえるように心がけてまいりますので是非お越しください。お待ちしております。



## 祝優勝！おめでとう「白組」



## 「まさかの白組優勝！」

白組 松井 圭三

前日までの雨の影響で体育館での開催となった大代町民運動会。

子供たちも、毎年それぞれ家を出て最近夫婦二人での参加と少し寂しくも感じます。

それでも本郷、山田、右原にいらつしやる老若男女が少ないながら揃って参加をして頂いてありがたいことです。私がある白組は毎年のように女性陣が活躍し、綱引きでは無敵の存在でしたが、最近の少子高齢化？によりその

座を奪われることが多くなり、副賞も少ないながら参加賞、各賞品を持って帰ることぐらいの近年でした。

それが、今年はどうしちゃったんでしょう？役員の方からの「総合優勝は白組です！」に「え〜？！え〜？！」と皆さんびっくり。当の白組もびっくりですから無理ありません。

「何かの間違いじゃない？」「なんで白組？」なんて声が聞こえてきそうな雰囲気ですが間違いありません。

思い返して見れば「そんなに目立った選手もない」「玉入れなんぞ最下位」とどこにも優勝する根拠はないのですが、たぶん後半の種目で頑張った成果だと思います。

『キャタピラー』はそんな中の一つです。新しい競技でもあり、どんな種目かも知らないまま「出ます」と言ってしまったのが、そもそも悲運な始まりでした。

その日の夜からだんだんと痛み始め（まだ若い証拠です）、翌日は「よっこらしよ」と掛け声がないと身体が動かず……。

妻にも「もう若くないんだからね〜」

### 新種目競技の「キャタピラー」



なんて言われ、本当に思ったほど身体は若くはないことを実感しました（悲）  
毎年の事ながらこれまで新しい種目を考え、当日の準備など役員の方々は頭が下がります。本当にありがとうございます。  
来年は優勝を目指す事はもちろんですが、赤色チームに代わって副賞を狙う事しか考えていません。  
**自治会長**、そのためにはまずは『玉入れ』練習しましょう。

### 運動会に参加して

上市 駐在所 山藤貴大

先日の大代町民運動会では皆様お疲れ様でした。

私も出席させていただき、非常に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

当日の天候には恵まれ、絶好の運動会日和だったので、前日までの悪天候のせいで体育館での開催となった今年の運動会でしたが、逆に会場が狭かった分、競技に出る選手と応援する方々との距離が近く、非常に盛り上がっていたのではないかと感じました。

私自身も、最初の宅配リレーをはじめ、風船割りや綱引きなど、様々な種目に参加させてもらいましたが、どれも同じチームの方々から熱い声援をいただき、ついつい熱が入ってしまい競技に夢中になっていました。

色々な競技が有りましたが、私が特に盛り上がりを感じたのは綱引きです。女性が綱を引く際には男性陣から熱い応援が、男性が綱を引く際には女性陣から熱い応援と、綱引きに参加する選手の近くに行くと、それぞれが応援

する姿は、まさしく各地区が一致団結していた光景だったのでないでしょうか。

今年は、私が所属する黄組が惜しくも優勝を逃したため、来年も是非参加して、黄組が優勝するよう貢献出来ればと思います。



よいしょ！よいしょ！

## 郷土史の思い出

川上 渡井恒徳  
今まで、大代の歴史について触れた

ことがありませんでした。

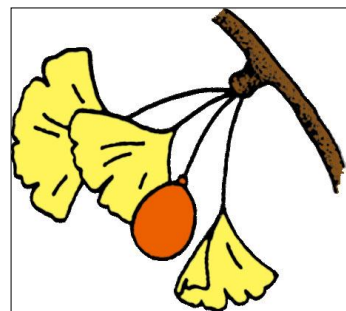
自分が生まれ育った、郷土がどのよう歴史を作り上げたのだろうかという興味から、大家が出来始めた経緯から調べてみたいと思い、地域の方からの情報や大代町に保管されている資料を基に、訪ねてみました。

遡ること飛鳥時代（大化の改新）6

45年頃、朝廷直轄の農場が設けられていた経緯もあり、当時から新屋・大家は存在していた。奈良、平安、鎌倉時代を通じて時代ごとの天皇、公家が飯谷、大家に携わっていたことから、由緒ある地域であることが伺えました。歴史を語れば今回のマスの中には納まりませんが、私の思い出が、亡き父に教わった、盆踊りの口説き文句を解読していくと大家城落城悲話であることを、知らずのうちに歌っていました。歴史を飾る悲しい歌であったことに、今改めて心を動かされました。

田植囃子も中学校の時に、やはり父に教わりいろいろなイベントに参加した思い出が懐かしく、小笠原流とあるのも、石見地域を治めていた小笠原氏が作った祭りごとから地域の楽しみご

ととして出来たもの知り、自分が郷



大きな力で地域を治めていたと思われる。

大江城主は公家の流れをくみますが、小笠原氏とは親しく小笠原傘下になりました。

石見銀山は関ヶ原の戦いより三百年も前に発見されており、以降大家地区も人が多くなり栄えていったとあります。その時代に建てられたお寺も多く健在しており、古くから信仰心のあつた大家地区と伺えます。

又、大代町には由緒ある石清水八幡宮や山辺八代姫命神社が建立されており、山辺八代姫命神社は783年時の桓武天皇御代に建立とあり、又、905年に醍醐天皇により編纂された古文書の中に記述があり、拝殿があり本殿もあったと思われる。



神紋は菊紋になっていましたので武士や豪族に関連した神社ではなく、見られた方は、大江高山中腹にあり参道の櫻や樹齢数百年のご神木に共感されたことと思います。

いたるところから歴代の天皇が地域を活性された経緯は、「大代町遺産です」。むしろ誇りに感じます。由緒あるこの土地に生まれ育った環境に大変気持ち動かされました。

年表はその時々で受け継ぎながら、限りなくあることに気付かされました。これほどに古い歴史文化があった事に、今後は、伝承していくことが課題になります。このような機会を頂き感謝・感激です。

一部の表現でしか書けませんでしたが、歴史はもっと奥深く大家の年表を作成する機会があれば是非参加したいと思ひ、今回はこの辺でまとめておきたいと思ひます。

※まちづくりセンターの資料より活用させてもらいました。



### お便りから

千葉県 御手洗朋子

ひろば大代446号拝見しました。「敬老の日特集号」自分と重ね合わせ感慨無量なものがありません。

「東洋平和のためならば何で命が惜しかろう……」あの軍歌と共に兵隊さんを横道の村境まで送ったあの日々。終り頃は歓呼の声どころか、こっそりと夕方のバスに乗って、浜田の連隊に見送った、幼い日を思い出しました。

長男である父をはじめ兄弟4人が軍人内二人は戦死。言葉に現わせられない敗戦の悲しみにくれた、七十数年前を思い出しました。

何としても戦争は起こさない。政治・外交を第一の国策としたいものですね。

大家尋常高等小学校跡地（現大代まちづくりセンター）の慰霊碑を思っ

合掌

### 俳句

あすなる句会

椿 花田時子

人住む 友に一輪 野菊持ち

遠近に 野の菊咲きて 母を恋ふ

稲架掛けや 親の手伝ひ 想ひ出す

齒科の窓 視界の限り 秋の雲

寂しくも 一人は気楽 柿を食ぶ

晩秋の 山家を照らす 月明かり

ささやかに 生きて愛でたり 柿丸寿枝

仏とも ただの石とも 今日菊

木の実落つ

### 11月行事予定



\*\*\* \*\*

▼ 6日（日）福祉弁当

▼ 13日（日）東京石見高山会総会

▼ 15日（火）さくらんぼ教室

▼ 20日（日）大代町文化祭

▼ 23日（水）連合自治会